

2014年
安全報告書



北陸鉄道株式会社

目次

1.ごあいさつ	3
2.基本方針と安全目標	4
3.当社の安全管理体制	5
4.事故等の発生状況とその再発防止措置	6
5.輸送の安全確保のための取組み	7
6.利用促進に対する取組み	10
7.地元と皆さまとの連携とお願い	11
8.ご連絡先	11

1. ごあいさつ

- 当社鉄道事業に対して、ご利用ならびにご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成25年度には利用者が少ない平日昼間帯にご利用いただける『平日昼トク回数券』を発売したほか、ご好評いただいております、ビール電車、おでん電車に加え、石川県内各地の地酒が楽しめる地酒電車を運行するなど需要喚起と利用促進に努め、年度計で274万人のお客様にご利用いただきました。

この間、大きな事故や災害の発生が無かったことは、安全規範の第一に掲げる『安全の確保は輸送の生命である』を遵守し、安全輸送に努めた結果とともに、地域の皆様の鉄道に対してのご理解・ご協力の賜物であり、今後もより一層、安全輸送の確保に努めてまいります。

なお、本報告書は鉄道事業法に基づき、安全管理規程の制定、安全統括管理者の選任を行い、輸送の安全確保のための取組みについて、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために2006年度より公表しております。

今後とも、鉄道線のご利用とご愛顧をお願い申し上げます。

北陸鉄道株式会社
取締役社長 加藤敏彦

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

地域の発展や環境に貢献し、安全輸送を第一に掲げ、法令を遵守し誠実に事業に取り組みます。

1. 『安全輸送の完遂』

サービスの原点は安全輸送

運転安全規範

綱領

- (1) 安全の確保は、輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は、安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は、安全の要件である。

(2) 安全目標

平成25年度は列車事故（衝突、脱線、火災）・鉄道人身事故0を目指し達成しました。本年度も過去の衝突・脱線事故等を教訓に、社長以下職員一同無事故達成に取り組んでいきます。

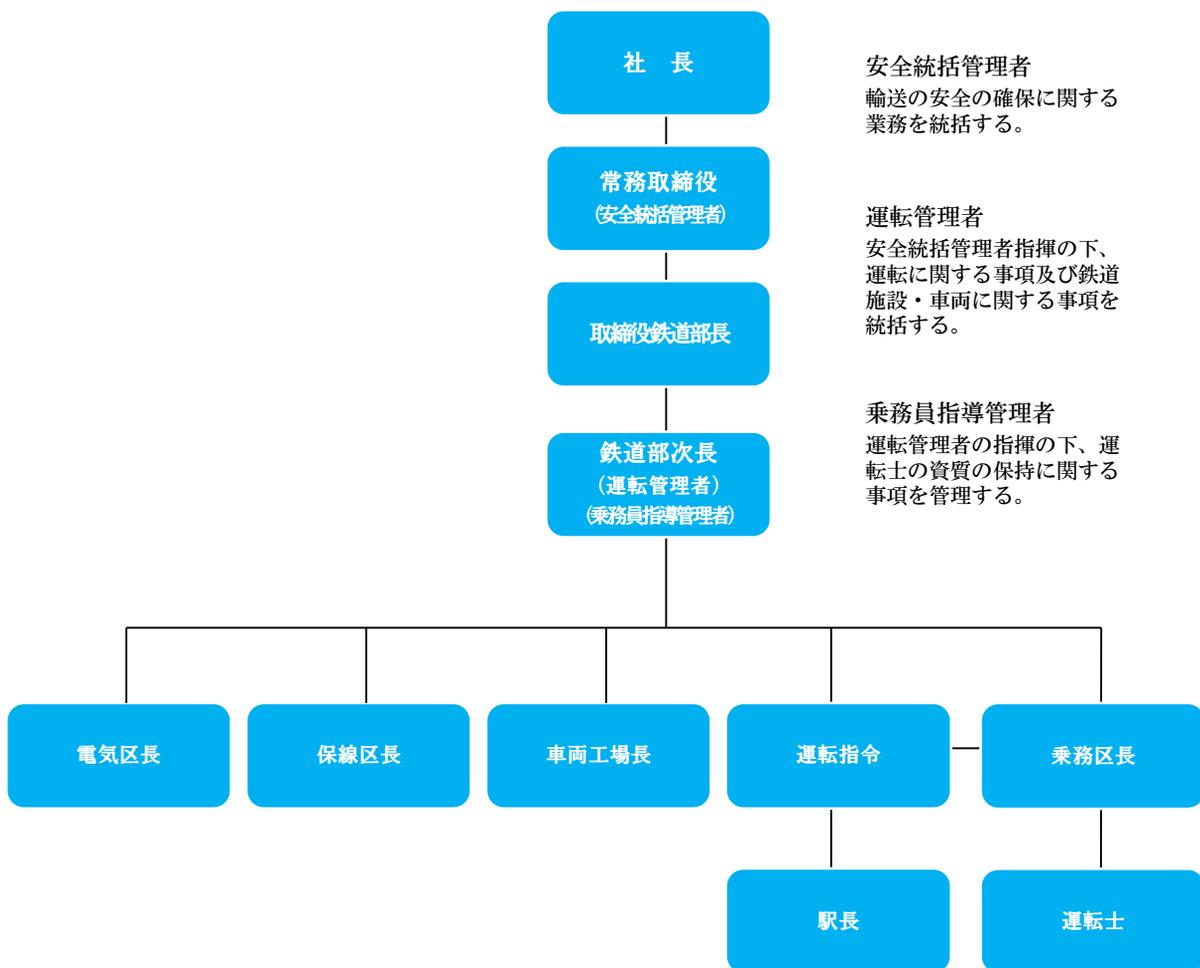
区分	項目	目標値
数 値 目 標	列車事故 (衝突・脱線・火災)	「0」
	鉄道人身事故	「0」

3. 当社の安全管理体制

(平成26年9月現在)

■安全管理体制

平成18年10月に安全管理規程を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築・運用しています。安全統括管理者、運転管理者、乗務員指導管理者等の管理者それぞれの責務を明確にし、安全確保のための役割を担っています。



■情報の共有と安全意識の高揚

毎月上旬に経営トップを中心に構成された『安全推進委員会』を定例開催し、情報の共有を図り事故防止に努めています。

4 . 事故等の発生状況とその再発防止措置

発生状況(平成25年4月から平成26年3月末まで)

(1) 鉄道運転事故

列車脱線・衝突・火災など

発生件数 0件

(2) 災害〔雪害や雷害等〕

雪害及び雷害の影響による運休

発生件数 0件

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

発生件数 1件

踏切障害 1件

その他 0件

25年度は、輸送障害が1件発生し、ご利用の皆様
に大変ご迷惑をおかけしました。

踏切障害については、直前横断によるもので列車運
休が発生いたしました。

(4) インシデント(事故の兆候)

平成25年度は発生しておりません

(5) 行政指導等

平成25年11月26～28日の3日間、国土交通省
による保安監査が実施されました。指摘事項等につい
ては、速やかに対応し、今後も安全確保の取り組みを継続
して参ります。

5. 輸送の安全確保のための取組み(1)

(1) 安全重点施策

当社では、「輸送の安全確保」を維持するために、重点的課題と改善施策を計画しております。

- ① 踏切道保安設備の整備
- ② 線路の重軌条化

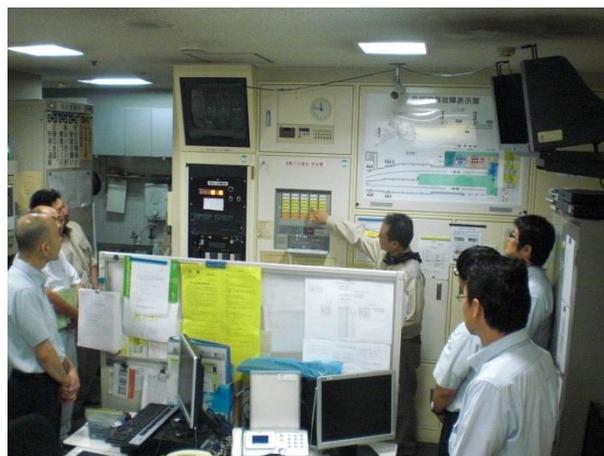
(2) 人材教育

知識・技能の向上を図るため計画的教育訓練の実施

- ① 年間2回以上の運転事故防止教習の実施
- ② 乗務員に対する再教育（事故再発防止）の実施
- ③ ヒューマンエラー防止への取り組みの実施
- ④ ヒヤリハット・事故の芽情報等の収集の取り組み

(3) 緊急時の対応訓練

- ① 北鉄金沢駅の消防設備取扱と避難誘導訓練の実施



5. 輸送の安全確保のための取組み(2)

(4) 安全のための投資と支出

平成25年度は安全の維持・向上を目的とし、鉄道営業収入504百万円に対して6百万円を保安防災対策費に充てました。また、地域公共交通確保維持改善事業費補助金制度を利用して405百万円を充て、老朽した鉄道施設の修理・更新を行いました。

① 線路設備

・レール交換

石川線では西泉駅～新西金沢駅間・額住宅前駅～曾谷駅間で、浅野川線では上諸江駅～磯部駅間・三ツ屋駅～大河端駅間で線路の重軌条化を行いました。

・マクラギ更新

石川線では西泉駅構内・四十万駅～曾谷前駅間で、浅野川線では北間駅構内の木製マクラギをコンクリートマクラギに更新を行いました。

・道床交換

石川線では額住宅前駅～小柳駅間で、浅野川線では上諸江駅～北間駅間の道床碎石の劣化による細粒化や噴泥の発生箇所の道床を交換し、列車の乗り心地向上と安全運行の確保、保守作業の合理化を図りました。



5. 輸送の安全確保のための取組み(3)

(4) 安全のための投資と支出

②信号保安設備

・連動装置

石川線道法寺駅～鶴来駅間で継電連動装置を電子連動装置へ更新し線区全体を集中電子連動化したほか、浅野川線三ツ屋駅構内・内灘駅構内の継電連動装置を更新しました。

その他踏切保安設備について改良を行いました。

③電路設備

・電柱交換

石川線野町駅～四十万駅間及び浅野川線磯部駅～内灘駅間において、木柱の電柱をコンクリート柱・鉄柱へ更新しました。

・配電線更新

石川線野々市駅～曾谷駅間の高圧配電線を裸電線から絶縁電線に更新しました。

④車両設備

石川線所属車両4両(2編成)について、法令で定められている重要部検査を実施しました。



6. 利用促進に対する取組み



創立70周年記念「ほくてつ電車まつり」

- ・10月13日に鶴来駅構内で開催し、親子連れを中心に約1,500名のお客様にご参加いただき、鉄道線に対しての親しみご理解、そして事故防止に努めて頂けるようPR活動を行いました。



おでん電車運行

- ・11月に3便運行したおでん電車は、車内で温かい金沢おでんと特製弁当が味わえるほか、運行日によってビール・ワイン・地酒といった飲み物が変わるお楽しみもありました。



地酒でんしゃ初運行

- ・2月と3月に石川県酒造組合連合会と連携して3便運行した地酒でんしゃでは、能登・金沢・加賀を代表する地酒15銘柄のうち各日5銘柄をお楽しみいただき、地産地消にこだわった特製おもてなし弁当も振る舞いました。



あさでんまつり開催

- ・4月に内灘駅構内で第3回あさでんまつりを開催しました。会場には北陸鉄道石川線・浅野川線利用促進連絡会が作成したPRキャラクター「のるぞう」が着ぐるみで初登場し、まつりを盛り上げました。



ビール電車運行

- ・6月からはビール電車の運行を開始しました。今年で13年目を迎えるビール電車では、生ビールが飲み放題のほか、特製弁当や缶チューハイが付いており、車内では余興でフラダンスショーが開催されました。

7. 地元の皆さまとの連携とお願い

平成25年度も踏切道で、遮断竿を折損する障害が発生しました。踏切道を通過する際は、一旦停止と左右の確認をお願いいたします。

また、線路内での置石も発生しました。ひとつ間違えれば列車脱線事故となる原因でありますので、発見された場合は、下記へ連絡くださいますようお願いいたします。

石川線 (運転指令) TEL 076-272-0109

浅野川線 (運転指令) TEL 076-238-3001

8. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

北陸鉄道(株) 鉄道部

TEL 076-272-2221